

船橋市の環境教育～持続可能な社会に向けて～

現在、温暖化や自然破壊など地球環境の悪化が深刻化し、環境問題への対応が緊急かつ重要な課題となっています。本市では、そうした社会状況の変化を受けて、環境問題への理解を深め、体感できる環境学習・環境教育の場を提供していくことを船橋市教育大綱の中に位置付けています。市立学校の「総合的な学習(探究)の時間」などにおいて環境について学ぶ単元の設定を推奨したり、小学校の校外学習の見学先に「ふなばし三番瀬環境学習館」を設定したりしています。持続可能な社会の担い手となる児童生徒を育成するために、船橋市教育委員会では、市の環境部と連携を取りながら、環境教育の推進に取り組んでいます。

「ふなばし三番瀬環境学習館」を活用した環境教育

「ふなばし三番瀬環境学習館」は、三番瀬に生息する生きものの生態や、三番瀬を取り巻く環境などについて学ぶことができる施設です。スタッフと一緒に干潟の生きものの観察や館内の体験型展示・標本展示などで、三番瀬の魅力を体感しながら、環境について学ぶことができます。



▲HP

学習の様子



館内の「そうぞうシアター」(写真左上)、「触れる地球」(写真右上)では、身近な三番瀬から地球上の様々な営みについて学ぶことができます。館外の「干潟フィールドワーク」(写真下左右)では、生きものを観察し直接ふれあひながら、環境について考えます。

市内小・中学校の実践

地球温暖化について考える授業

ゼロカーボンシティ推進室(環境政策課)から提供された資料を活用して学んだり、環境問題に取り組むゲストティーチャーから話を聞いたりして、地球温暖化防止について考えを深めました。



環境をテーマにした提案

船橋市をより良い市にするために、「私が市長になったら〇〇します!」をテーマに、市長に直接提案する「こども未来会議室」では、学校で話し合った環境問題への具体的な取組について提案した中学校もありました。



緑のカーテン普及事業

「緑のカーテン普及事業」は、温暖化対策の一つとして、ゼロカーボンシティ推進室と連携しながら毎年実施されているものです。希望があった市内の小・中・特別支援学校などにゴーヤの苗が配付されています。各学校に届いたゴーヤの苗は、立派な緑のカーテンに成長し、環境について考えるきっかけになっています。



総合教育センターで行われたゴーヤ寄贈の様子



わが校の給食自慢レシピ 宮本小学校編 『アジの胡麻竜田揚げ』



材料(4人分)

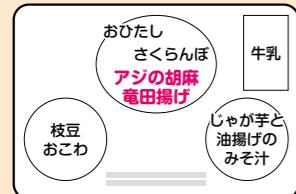
- アジの切り身(50g).....4枚
- 醤油.....小さじ1(6g)
- 酒.....大さじ1/2(8g)
- しょうが(すりおろす).....1/2かけ
- にんにく(すりおろす).....1/2かけ
- ごししょう.....少々
- みりん.....小さじ1/2(3g)
- 黒いりごま.....大さじ1と1/2(11g)
- 白いりごま.....大さじ1と1/2(11g)
- かたくり粉.....大さじ3(27g)
- 油.....適量

作り方

- ①Aを混ぜ合わせておく。
- ②アジをAにつけて、冷蔵庫で30分以上置いておく。
- ③Bを混ぜ合わせておく。
- ④②に③をまぶし、油で揚げます。

レシピ紹介

アジは1年を通して獲ることができる魚です。特に春から夏(5月～8月)にかけて旬を迎え、もともと脂がのり、おいしくなります。アジなどの青魚にはDHA(ドコサヘキサエン酸)、EPA(エイコサペンタエン酸)という不飽和脂肪酸が豊富に含まれています。血液中のコレステロールを減少させ、血液の循環を良くする効果があるため、生活習慣病のリスクを下げてくれます。一般的に「アジ」として販売されているものは「真アジ」になります。真アジは大きさも様々あり、一番小さなアジは豆アジとも言われ、まるごと食べることができるので、唐揚げなどによく利用されます。中々らしいものは開きに、大きいものはお刺身に利用されるなど、幅広く様々な料理に使われている魚です。アジの胡麻竜田揚げは、アジのサクリとした食感とごまの香ばしい香りで子どもたちも食べやすいメニューです。



宮本小学校 学校栄養職員 土澤 歩美

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

市立船橋高校～地域の皆様に愛され、応援される部活動へ～

インターハイ大活躍

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が四国4県(徳島・香川・愛媛・高知)で開催され、陸上競技部、体操競技部、サッカー部、男子バスケットボール部、女子バレーボール部、水泳部が出場し活躍しました。中でも体操競技部男子団体、陸上競技部女子4×400mリレー・女子三段跳びの種目で、全国優勝を果たしました。

体操競技部

男子団体 1位



須永光輝 鈴木良音
山崎真颯 角友皆晴

陸上競技部

女子4×400mリレー 1位



篠原美咲 宮地利璃香
志水芹菜 佐藤葵唯



女子三段跳び 1位 佐々木千翔

野球部甲子園出場



野球部が、第104回全国高等学校野球選手権千葉大会で15年ぶり6回目の優勝を果たし、全国選手権大会への出場を決めました。



甲子園での初戦興南高校(沖縄県)戦では、3回表に5点を失いながらも粘り強く追い上げ、2点差で迎えた8回裏、4番野手の本塁打と森本哲星選手の適時打で同点となりました。5対5で迎えた9回裏、勢いに乗る市船は1死満塁とし、代打黒川選手が死球を受けて押し出しとなり、1997年以来25年ぶりの甲子園での勝利を手にしました。

2回戦の敦賀気比(福井県)戦では、5点ビハインドの9回裏、持ち前の粘りを発揮し、3点を返して反撃するもあと一歩及ばず、6対8で惜敗しました。敗れはしたものの、最後まであきらめない市船ナインの健闘は、スタンドで声援を送る観客からも大きな拍手を受けていました。

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2022



ダンス部は、関東大会のSONG・POM部門、DRILL・POM部門に出場し、第1位となり、全国大会への出場を決めました。

女子サッカー部～男子サッカー部へ続け!目指せ日本一!～



市船と言えば、全国高校サッカー選手権優勝5回、インターハイ優勝9回を誇る男子サッカー部が有名ですが、近年めきめきと力を付けているのが女子サッカー部です。今年のインターハイ千葉県予選では、ベスト8に輝きました。全国大会常連の暁星国際高校との準々決勝では、惜しくも敗れたものの、近い将来、全国へ、そして日本一、そんな日もそう遠くはないはずと感じさせる戦いでした。ぜひ注目!

商業科「メルカリShops PBL」プログラム実習

※PBL(Project Based Learning)とは課題解決型学習のこと。

商業科では、2年次経済分野の授業の一環として、近年成長を続けているEC(電子商取引)教育を推進するために「株式会社メルカリ・株式会社ソウゾウ」とともに「メルカリShops PBLプログラム」実習を実施しています。

この実習では、市船ECショップの起業や船橋市内の地元商店街・中小企業と連携したECショップの運営、商品開発や販売促進を体験したり、PBLを通じた地元企業と連携した事業を展開したりと、地域活性化を図ることを目的として取り組んでいます。



告知 第2回学校説明会 11月12日(土)開催予定

※お問い合わせは市立船橋高校(047-422-5516)までお願いします

令和4年度 研究指定校・研究奨励校等の紹介

本市では、学校ごとに児童生徒の学力向上、授業改善などを目的として研究主題を設定し、研究に取り組んでいます。また、国や県の動向を踏まえ、新しい時代や社会の変化に対応した教育課題の解決に向けて研究学校（研究指定校・研究奨励校）を指定し、本市教育の教育内容・教育方法などの充実・改善に役立てています。本号では、令和4年度に公開研究会を予定している学校の取組と船橋市教育委員会や千葉県教育委員会、文部科学省の研究指定を受けている学校について紹介します。

船橋市教育委員会研究指定校

- 国際理解教育 H25～R4**
 - 葛飾小学校 「国際性豊かな児童の育成」～情報活用能力の育成を基盤として～
 - 葛飾中学校 「グローバル社会で求められる資質の育成」
- 小中一貫教育 H30～R4**
 - 豊富小学校 「児童生徒の主体性を育む小中一貫教育の在り方」
 - 豊富中学校 「基礎学力の向上と生活習慣の改善を図る取組を通して～」
- 道徳教育 R3～R5**
 - 峰台小学校 「豊かな心を持ち、よりよく生きようとする児童の育成」～児童の考えを深める道徳科の学習を通して～
- 道徳教育 R4～R6**
 - 旭中学校 「他者や周囲とのつながりを意識した道徳教育の実践」～地域とともにある学校をめざして～
- 確かな学力の向上 R2～R4**
 - 前原中学校 「自ら問いを持ち続け、粘り強く学ぶ生徒の育成」(全教科)～生徒一人一人の問いに着目した授業の工夫～
- 確かな学力の向上 R4～R6**
 - 法典小学校 「学習に主体的に取り組む児童の育成」～わかる！できる！表現する！知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力の指導の工夫を通して～
- 学校体育 R2～R4**
 - 七林小学校 「一人一人が学習内容を理解し、わかる、できる喜びを味わう体育学習」～学びの系統性をとらえ、思い切り運動できる学習を通して～
- 学校体育 R3～R5**
 - 行田中学校 「一人一人が深い学びを具現化し、わかる・できる喜びを味わう体育学習」～学びの系統性をとらえ、自己実現できる学習を通して～
- 健康教育 R4～R6**
 - 海神中学校 「生徒が主体的に学び、確かな学力と心身の健康を育む教育の実践」
- 情報教育 R3～R5**
 - 二宮小学校 「自ら学び、互いに高め合う児童の育成」～情報活用能力を生かした学びを通して～

船橋市教育委員会研究奨励校

- 確かな学力の向上 R3～R4**
 - 夏見台小学校 「自分で見通しを持って読む力の育成」(国語)～問いづくりから読みの観点の確立を目指して～
 - 高根小学校 「主体的に取り組む子供の育成」～ICTを活用して伝える力を育む～(算数)
 - 中野木小学校 「夢中になって取り組む児童の育成」～素材や自己、他者との「対話」を通して～(生活・社会)
 - 習志野第二小学校 「思考し、表現する力の育成」～「主体的・対話的で深い学び」を通して～(国語・家庭)
 - 芝山中学校 「主体的・対話的に学ぶ生徒の育成」(全教科)～自ら学び、意見を交換しながら確かな学力の向上を図る～
- 環境教育 R4～R5**
 - 南本町小学校 「環境問題への理解を深め、実感を伴った授業づくり」～「今の自分にできること」を考える児童の育成を目指して～
 - 高根台中学校 「課題解決に必要な資質・能力を育む授業づくり」～生徒の主体性を引き出す活動の工夫を通して～
- 主権者教育 R4～R5**
 - 前原小学校 「自分の考えを表現し、主体的に学び合う児童の育成」～主権者教育の推進を通して～
 - 高根中学校 「主体的、協働的に課題を追求し続ける生徒の育成」～主権者教育の研究を通して～
- 情報教育 R3～R4**
 - 古和釜中学校 「基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、自ら進んで学習に取り組む生徒の育成」～ICTを活用した学びの実現～

葛飾中学校〈国際理解教育〉 公開日 11月2日(水)

「グローバル社会で求められる資質の育成」

グローバル社会で求められる資質・能力及び態度を①自己のアイデンティティの形成と異文化②様々なコミュニケーション能力③チームワークとリーダーシップ④課題発見・課題解決能力の4つに設定し、教科等横断的な視点で研究を進めています。



各教科の特性を生かし、活動目標を意識した学習に取り組んでいます。英語科の学習では、ICT機器を効果的に活用しながら、様々な文化に触れ、多様な視点と価値観を育んでいます。



総合的な学習の時間では、ローカル・ナショナル・グローバルな視点で探究的な学習に取り組んでいます。2年生では企業と連携しながら地球規模の視点に立った課題解決学習に取り組んでいます。

七林小学校〈学校体育〉 公開日 11月4日(金)

「一人一人が学習内容を理解し、わかる、できる喜びを味わう体育学習」～学びの系統性をとらえ、思い切り運動できる学習を通して～

児童が運動の特性や他の運動とのつながりを考えながら、学びの見通しをもって課題解決に向かう学習に取り組んでいます。



学習のゴールをイメージして、ねらいを設定します。一人一人が見通しをもって学習を進めています。



自分の課題を明確に持ち学習活動に参加することで、「わかる」「できる」喜びを感じることができます。

千葉県学校体育研究大会 開催日 11月18日(金)

全体会 船橋市総合体育館(船橋アリーナ)
分科会 小学校:七林小学校 中学校:行田中学校

千葉県NIE推進協議会実践指定校 千葉県福祉教育推進校

NIE(すべての教室へ新聞を運動)R4～R5
・芝山東小学校
福祉教育 R4～R6
・三山小学校 ・三山東小学校
・三山中学校

文部科学省教育支援体制整備事業協力校

公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業 R4
(センター校)・葛飾小学校 ・葛飾中学校
(連携協力校)・若松小学校 ・三山東小学校 ・高根台中学校

文部科学省委託事業に係る研究指定校

特別支援教育 R3～R4
・三咲小学校 「ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実」(ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究)

前原中学校〈確かな学力の向上(全教科)〉 公開日 11月8日(火)

「自ら問いを持ち続け、粘り強く学ぶ生徒の育成」～生徒一人一人の問いに着目した授業の工夫～

「問いの引き出し」「問いの活用」「問いに対する学習内容を振り返り、調整する」の3つの視点で指導法を工夫しています。



理科の学習では、生徒一人一人から生じた問いをもとに課題を設定し探求学習を行い、発表を行っています。



家庭科の学習では、幼児の心や体について学んだ知識を生かして、「幼児と一緒に〇〇しよう」という課題を設定しています。

豊富小・中学校〈小中一貫教育〉 公開日 11月22日(火)

「児童生徒の主体性を育む小中一貫教育の在り方」～基礎学力の向上と生活習慣の改善を図る取組を通して～

「児童生徒の主体性」とは、小学校では、「進んで学び、自分の足で歩む子」、中学校では、「自分自身を見つめ、力強く歩む生徒」として捉え、中一ギャップの解消や学力の向上などを図っています。



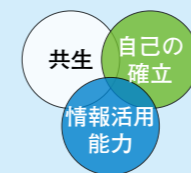
授業作りの視点を小中で統一し、授業研究、授業参観などを通して、授業改善や学力向上に取り組んでいます。



小学1年生から中学3年生の児童生徒が縦割りグループを組み、アンデルセン公園で一緒に遊び、交流を深めています。

葛飾小学校〈国際理解教育〉 公開日 令和5年2月3日(金)

「国際性豊かな児童の育成」～情報活用能力の育成を基盤として～



文部科学省から示されている3つの態度・能力を国際三色(左図)と位置付け、教育課程全般で育成しています。その中でも、学習指導要領総則の中で学習の基盤となる資質・能力とされている情報活用能力を、児童育成の土台としています。

情報活用能力ベーシックの5つの学習プロセス(課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現、振り返り・改善)と学校で設定した3つの育成段階に基づき、タブレット端末を効果的に活用しながら、情報活用能力などの育成を図っています。



高学年の社会科の学習では、ジグソー法※を用いて、互いに「ミニ先生」となり教え合っています。



低学年の算数科の学習では、タブレット端末内でお金の教具を操作して、自分の考えを説明しています。

※共通のテーマを役割分担して調べ、互いに説明し合う学習方法の一つ。